

9月19日(金)【会場A】

第6セッション 9:00-10:45

【実証データベース収集・防災力向上(2)】 座長： 副座長：

発表10分、質疑応答5分・・・予鈴①8分、予鈴②10分、予鈴③14分

A-6-1	レーダ技術で水中で流れてる流木の観察	神戸大学	○	ゴメス クリストファー
A-6-2	自動走行および遠隔走行を用いた地中レーダロボットによる災害時の行方不明者 探索	仙台高専	○	園田潤
A-6-3	水害発生時に未就学児の「お迎え」に行く保護者の意識と防災行動	東京未来大学 徳島大学	○	西村実穂 中野晋
A-6-4	災害に関する情報を別居家族に連絡した経験がある人の特性	NTTドコモ モバイル社会研究所 NTTドコモ モバイル社会研究所	○	水野一成 近藤勢津子
A-6-5	港湾における長周期波抑止に対する防波堤の効果	(一財) 沿岸技術研究センター	○	平石哲也
A-6-6	防災気象情報と地域住民の災害認知の関係性把握に関する研究 その1 被災住民 の実感と気象条件の突合による危機的状況の多面的分析	兵庫県立大学大学院 彦根地方気象台 大阪管区気象台 大阪管区気象台 大阪管区気象台 大阪管区気象台 大阪管区気象台 神戸地方気象台 神戸地方気象台 広島地方気象台 兵庫県立大学大学院	○	澤田雅浩 小林俊彦 南出寛人 岡田悠里 山口章子 箱崎又一 石井智 秋山佳明 市田春菜 竹本祐太郎 谷口博
A-6-7	防災気象情報と地域住民の災害認知の関係性把握に関する研究 その2 現地調 査に基づくユーザー目線による地域防災支援の強化手法に関する考察	彦根地方気象台 大阪管区気象台 大阪管区気象台 大阪管区気象台 大阪管区気象台 大阪管区気象台 神戸地方気象台 神戸地方気象台 広島地方気象台 兵庫県立大学大学院 兵庫県立大学大学院	○	小林俊彦 南出寛人 岡田悠里 山口章子 箱崎又一 石井智 秋山佳明 市田春菜 竹本祐太郎 谷口博 澤田雅浩

9月19日(金)【会場A】
第7セッション 13:30-15:00

【能登半島地震(3)・豪雨】 座長： 副座長：

発表10分、質疑応答5分・・・予鈴①8分、予鈴②10分、予鈴③14分

A-7-1	ALOS-2/PALSAR-2データを用いた2024年能登半島地震における地下埋設管被害の検討	山口大学応用衛星リモートセンシング研究センター 京都大学 山口大学応用衛星リモートセンシング研究センター 配水用ポリエチレンパイプシステム協会 配水用ポリエチレンパイプシステム協会 配水用ポリエチレンパイプシステム協会	○ 江口毅 清野純史 三浦房紀 塩浜裕一 大室秀樹 白澤洋
A-7-2	令和6年能登半島地震による日本海沿岸部の津波の周波数特性	株式会社エコー 株式会社エコー (国研) 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 (国研) 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所	○ 仲井圭二 額田恭史 川口浩二 藤木峻
A-7-3	振幅特性図を用いた能登半島の強震データの分析	東洋大学	○ 鈴木崇伸
A-7-4	2024年能登半島地震で被災した金沢城跡御居間先下石垣の変形要因と変形進展に関する調査事例	香川大学 関西大学 静岡理工科大学 関西大学大学院	○ 山中稔 小山倫史 中澤博志 原幸平
A-7-5	石川県珠洲市高屋地区における地震観測：観測成果と2025年4月報告会	東北大学大学院理学研究科・東北大学災害科学国際研究所 東北大学大学院理学研究科 東北大学大学院理学研究科 京都大学防災研究所 京都大学防災研究所 金沢大学大学院自然科学研究科	○ 岡田知己 平原聡 木村洲徳 宮澤理稔 西村卓也 平松良浩
A-7-6	令和6年奥能登豪雨におけるSNS画像を用いた輪島市の浸水状況の即時推定と現地検証	国立研究開発法人防災科学技術研究所 国立研究開発法人防災科学技術研究所 国立研究開発法人防災科学技術研究所 国立研究開発法人防災科学技術研究所 国立研究開発法人防災科学技術研究所 国立研究開発法人防災科学技術研究所 国立研究開発法人防災科学技術研究所 国立研究開発法人防災科学技術研究所	○ 平野洪寛 飯塚聡 P.C. Shakti 酒井直樹 石澤友浩 下瀬健一 檀上徹 本田恭太郎 吉森和城

9月19日(金)【会場A】

第8セッション 15:10-16:40

【能登半島地震(4)・防災力向上(3)】 座長： 副座長：

発表10分、質疑応答5分・・・予鈴①8分、予鈴②10分、予鈴③14分

A-8-1	能登半島地震における地震動予測地図、群発地震に関連した事前の注意呼びかけ	東北大学理学研究科 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター	齋藤さやか 安本信也 ○ 関谷直也
A-8-2	避難生活環境の対応段階から本格的復興段階に至る過程における被災地域の対応 課題の枠組みの検討：令和6年能登半島地震の被災地域を事例に	関西学院大学建築学部	○ 照本清峰
A-8-3	能登半島地震における各市の初動	元・帝京大学法学部非常勤講師	○ 関英男
A-8-4	マージナルケアとしての災害ボランティア	福知山公立大学地域経営学部	○ 大門大朗
A-8-5	ボランティア元年以後の災害ボランティアの現在地について	大阪大学大学院人間科学研究科	○ 宮本匠
A-8-6	災害ボランティア30年に報告された援原病の症例と治療・予防の試み	大阪大学大学院人間科学研究科	○ 渥美公秀

9月19日(金)【会場B】

第6セッション 9:00-10:45

【スペシャルセッション】 「変わりゆく防災気象情報」

(1)本セッションの趣旨と「防災気象情報に関する検討会」概要 [20分]	静岡大学防災総合センター	牛山素行
(2)来年度からの防災気象情報の概要 [20分]	気象庁名古屋地方気象台	向井利明
(3)「防災気象情報に関する検討会」の議論を振り返って [20分]	京都大学防災研究所	矢守克也
(4)防災気象情報を巡る副会長対談 [20分]	静岡大学防災総合センター 京都大学防災研究所	牛山素行 矢守克也
(5)総合討論 [20分]		

9月19日(金)【会場B】

第7セッション 13:30-15:00

【スペシャルセッション】 ホンネで語ろう「ぼうさい」イブニングカフェ

「災害のフェーズ転換と地域の間接支援：人口減少時代の復興と持続可能性を支える仕組みとは～休眠預金と人的リソースによる新たな地域再生の可能性～」		
(1)休眠預金を活用した地域支援の実践と課題、復興期の市民活動支援	公益財団法人ほくりくみらい基金 代表理事	永井三岐子
(2)全国的な災害後方支援の仕組みと、その変遷から見えてきた課題と可能性	認定非営利特定活動法人ETIC シニア・コーディネーター	山内幸治
(3)パネルトーク	岐阜大学 教授 公益財団法人ほくりくみらい基金 代表理事 認定非営利特定活動法人ETIC シニア・コーディネーター	高木朗義 永井三岐子 山内幸治
(4)フロアとの対話（質疑応答・意見交換）		

9月19日(金)【会場B】

第8セッション 15:10-16:40

【避難（2）】 座長： 副座長：

発表10分、質疑応答5分・・・予鈴①8分、予鈴②10分、予鈴③14分

B-8-1	BWS分析を用いた防災情報のニーズ調査	河川情報センター 滋賀大学 河川情報センター	○	鬼頭直 田中勝也 田中耕司
B-8-2	津波避難施設耐浪性検討手法に関する一考察	株式会社パスコ 株式会社パスコ	○	青柳一輝 濱谷雅信
B-8-3	土石流警戒区域指定の課題についての考察	徳島大学 国土防災 徳島大学	○	蔣景彩 古谷綱崇 西山賢一
B-8-4	2024年7月松山市城山斜面崩壊地地盤調査に基づく斜面の安定性評価	愛媛大学・社会共創学部 愛媛大学大学院理工学研究科 MORI研究所	○	バンダリ ネットラ プラカシュ 小野耕平 森伸一郎
B-8-5	四国地域における避難所開設・運営の実態と課題：地理条件と人口分布に基づく地域比較	香川高等専門学校 香川高等専門学校	○	今岡芳子 柳川竜一
B-8-6	台湾における防災休業制度とその実態	関西大学社会安全学部	○	城下英行

9月19日(金)【会場C】

第8セッション 15:10-16:40

【防災力向上（4）】 座長： 副座長：

発表10分、質疑応答5分・・・予鈴①8分、予鈴②10分、予鈴③14分

C-8-1	火山周辺自治体と連携した火山防災への取り組み（御嶽山・那須岳・十勝岳）	防災科学技術研究所	○	宮城洋介
C-8-2	防災コミュニケーションによる行動変容：既往研究レビューと介入手法の探索	東北大学災害科学国際研究所 東北大学災害科学国際研究所 東北大学災害科学国際研究所 東北大学災害科学国際研究所 東北大学災害科学国際研究所 東北大学災害科学国際研究所 東北大学災害科学国際研究所 浜松医科大学健康社会医学講座 静岡大学学術院工学領域 東北大学医学系研究科 株式会社キャンサースキャン 東北大学産学連携機構	○	福島洋 栗山進一 佐藤健 佐藤翔輔 ゲルスタ ユリア 大類真嗣 藤本慎也 尾島俊之 小杉素子 岩本萌 遠峰良美 北村美和子
C-8-3	ランダムフォレスト回帰を用いた地震による直接被害額の高解像度推計の試み - 平成28年熊本地震をケーススタディーとして-	北海道立総合研究機構 北海道大学 防災科学技術研究所	○	崔青林 中嶋唯貴 白田裕一郎
C-8-4	「未災学」に関する試論	京都大学	○	矢守克也
C-8-5	1967年羽越水害の伝承手法としての「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」が55年後に起きた実災害における影響：2022年8月豪雨で被災した新潟県関川村を対象にした考察	東北大学災害科学国際研究所 株式会社NTTデータ	○	佐藤翔輔 榎谷（門倉）七海
C-8-6	被災地学び支援派遣等枠組み（D-EST）創設に向けた動向と災害時における学校の早期再開	東北大学災害科学国際研究所 東北大学災害科学国際研究所	○	佐藤 健 桜井愛子